

「自らの学習を調整するための 振り返りシート・評価シートの活用事例」

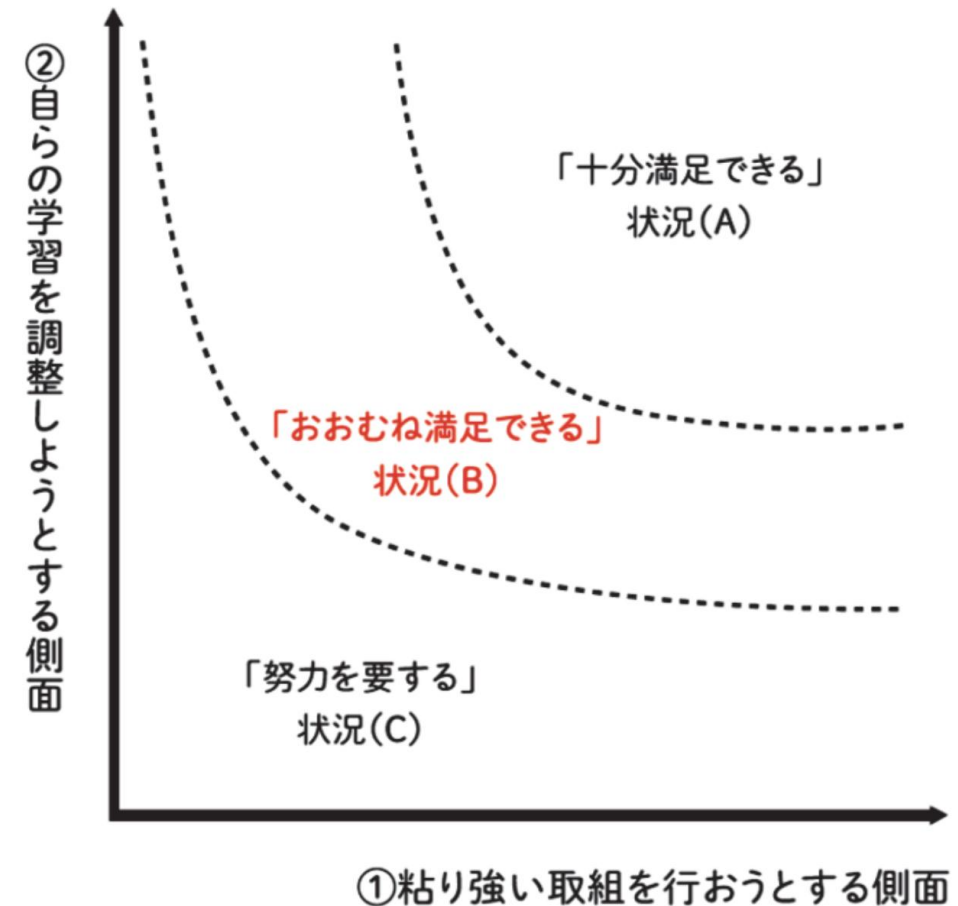
1 目的・ねらい

単元学習後の「振り返り」がよりよく機能するために、生徒自身に右図の中での「自分の位置」「自己評価の位置」を確認する評価シートを作成しフィードバックする。

⇒ 評価を視覚的に実感する。

⇒ 粘り強さと自己調整力のバランスを考える。

国立教育政策研究所から示されている評価曲線



2 「主体的に取り組む態度」の評価の算出

評価曲線は、 $k = 1, 3$ として

直角双曲線 $y = \frac{k^2}{x} + 1$ ($0 < x \leq 5$)

を用いた。「知識・技能」

「思考・判断・表現」それぞれにおいて粘り強さ x 、調整力 y を評価し、上記式を変形

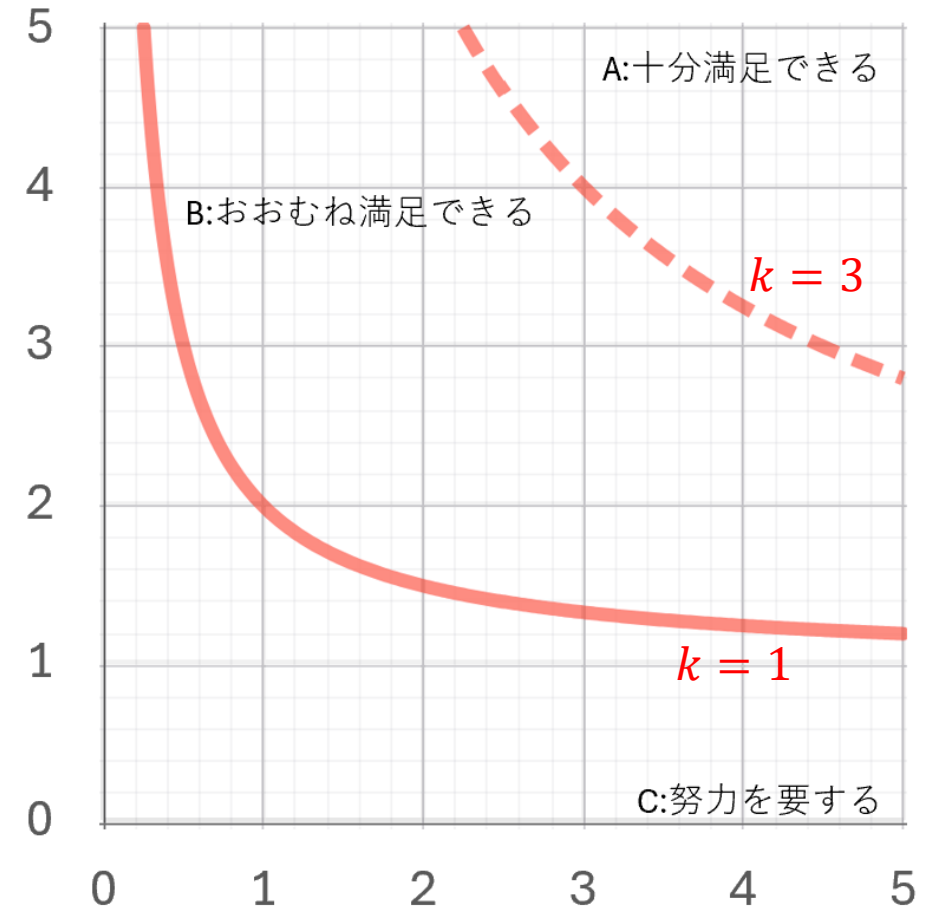
した $k = \sqrt{x(y-1)}$ に代入し、

$\frac{k}{4} \times 100 = 25k$ を評価値とした。

国立教育政策研究所の評価曲線と似た曲線

$$y = \frac{k^2}{x} + 1 \text{ を作成}$$

② 自らの学習を調整しようとする側面



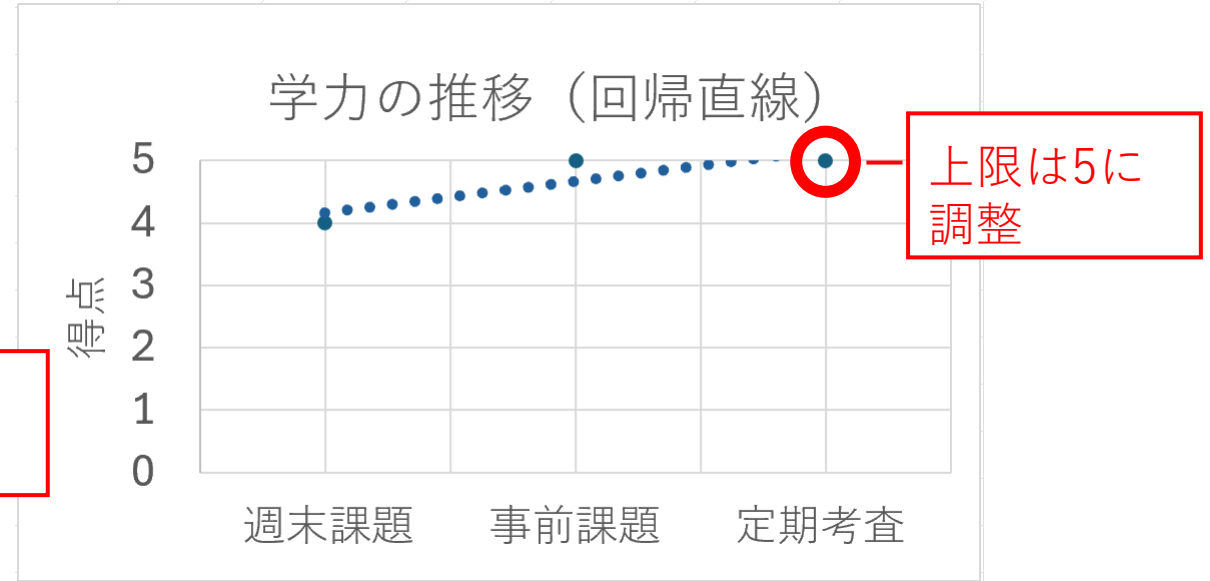
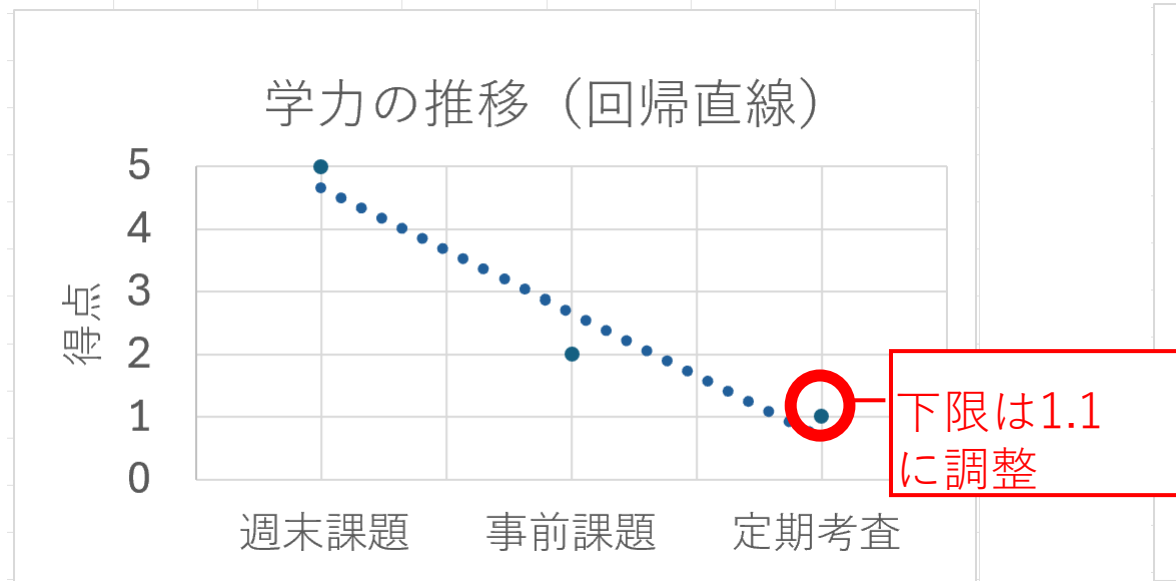
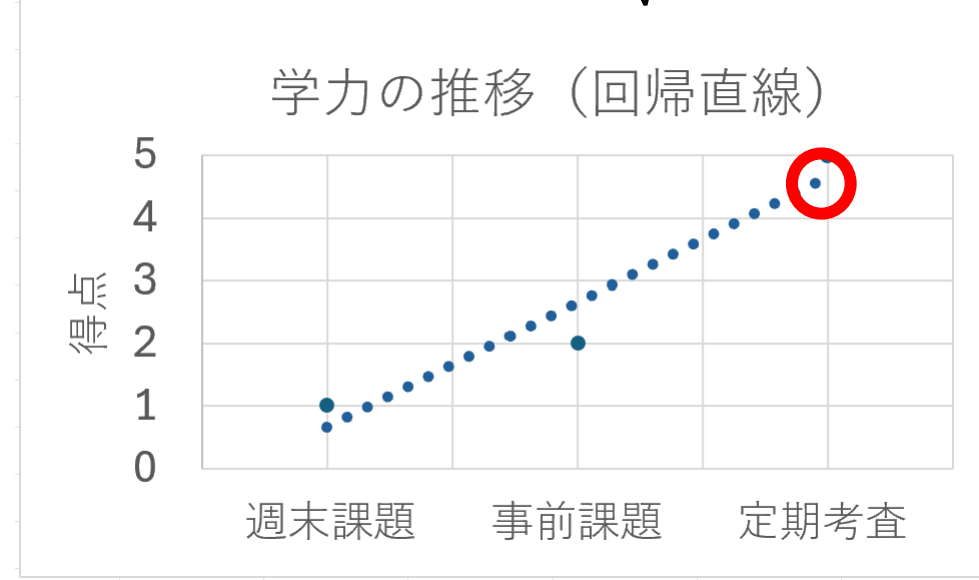
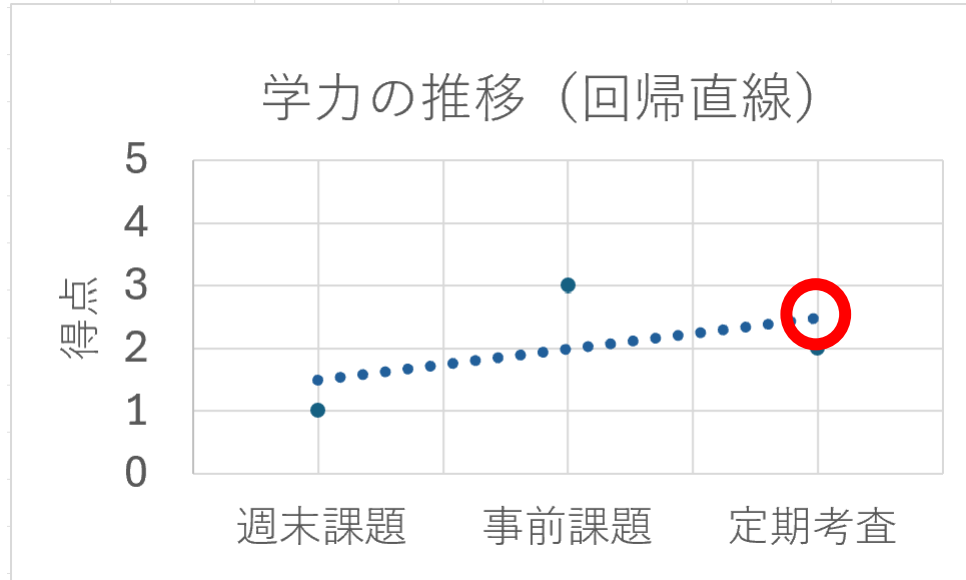
① 粘り強い取組を行おうとする側面

2 「主体的に取り組む態度」の評価の算出

- 週末課題 ⇒ 「知識及び技能」の「粘り強さ」： $0 < x_1 \leq 5$
- （「知識・技能」に関わる）週末課題から事前問題を経て定期考査に至るまでの学力の推移
⇒ 「知識及び技能」の「調整する力」： $1.1 \leq y_1 \leq 5$
- パフォーマンス課題などの成果物
⇒ 「思考力，判断力，表現力等」の「粘り強さ」： $0 < x_2 \leq 5$
- （「思考・判断・表現」に関わる）週末課題から事前問題を経て定期考査に至るまでの学力の推移
⇒ 「思考力，判断力，表現力等」の「調整する力」： $1.1 \leq y_2 \leq 5$

2 「主体的に取り組む態度」の評価の算出

「学力の推移」 y_1 、 y_2 の算出方法 ($k = \sqrt{x(y-1)}$)



3 ロイロノートによる振り返りシート

学期末または単元末にロイロノートで取り組む。

「単元●●（▼学期末まで）」振り返り（授業や自宅学習での取り組みを単元全体で振り返り、次に生かそう！）

5段階評価

- 5 完璧に達成できた
- 4 十分に達成できた
- 3 おおむね達成できた
- 2 少し達成できた
- 1 全く達成できなかった

Q1 公式や基本事項について、覚えるまでしっかりと取り組んだ。

回答必須

5

4

3

2

1

Q4 友達(先生)と自分の考えを比較し工夫しながら、より深く理解しようとしている

回答必須

5

4

3

2

1

Q5 「粘り強く取り組む力」と「自らの学習を調整する力」について具体的に自己評価し、記述せよ。（100文字以上）

回答必須

3 ロイロノートによる**振り返りシート**

①公式や基本事項について、覚えるまでしっかりと取り組んだ。

(5段階評価) ⇒ 「**知識及び技能**」の「**粘り強さ**」

②公式や基本事項について、丸暗記ではなく根拠や背景まで知ろうとしている。

(5段階評価) ⇒ 「**知識及び技能**」の「**調整する力**」

3 ロイロノートによる**振り返りシート**

③難しくても解決に時間がかかる問題でも、意見交換しながら見方を変えて最後まで向き合っている。

(5段階評価) ⇒ 「思考力, 判断力, 表現力等」の「粘り強さ」

④友達や教員と自分の考えを比較し工夫しながら、より深く理解し、改善しようとしている。

(5段階評価) ⇒ 「思考力, 判断力, 表現力等」の「調整する力」

3 ロイロノートによる振り返しシート

⑤ 「粘り強く取り組む力」と「自らの学習を調整する力」について具体的に自己評価し記述する。

名前	回答日時	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5
1	2025/10/7 09:58:56	3	おま	5	完璧に達成できた	
2	2025/10/7 10:00:50	3	おま	4	十分に達成できた	
3	2025/10/7 10:01:09	2	少し	3	おおむね達成できた	

エクセルで

ダウンロード

回答日時	名前	ふりがな	総質問数	回答数	[質問 1]	[質問 2]	[質問 3]	[質問 4]	[質問 5]	「粘
2025/10/7	記載 例太郎	きさい れいたろ	5	5	3	4	5	2	苦手な問題で	
2025/10/7	記載 例次郎	きさい れいじろ	5	5	3	4	4	4	自分に必要な	
2025/10/7	記載 例三郎	きさい れいさぶ	5	5	2	4	3	3	もっと友達と	
2025/10/7	記載 例四郎	きさい れいしろう	5	5	3	3	4	2	「粘り強く取	
2025/10/7	記載 例五郎	きさい れいごろう	5	5	3	4	3	4	できるだけ自	
2025/10/7	記載 例蔵	きさい れいぞう	5	5	2	3	4	2	時々自ら時間	
2025/10/7	記載 例之助	きさい れいのすけ	5	5	3	5	4	1	数弱の僕は基	
2025/10/7	記載 例彦	きさい れいひこ	5	5	2	3	2	2	数字が具体的	
2025/10/7	記載 例美	きさい れいみ	5	5	4	4	3	4	わからない問	
2025/10/7	記載 例子	きさい れいこ	5	5	2	1	2	2	計画を立てる	
2025/10/7	記載 例奈	きさい れいな	5	5	3	2	4	3	私は分からな	
2025/10/7	記載 例華	きさい れいか	5	5	3	2	3	2	基本、要点に	
2025/10/7	記載 例代	きさい れいたい	5	5	2	2	2	2	今回のテスト	

4 フィードバックコメントの場合分け

評価曲線 $y = \frac{k^2}{x} + 1$ と直線 $y = x + 1$

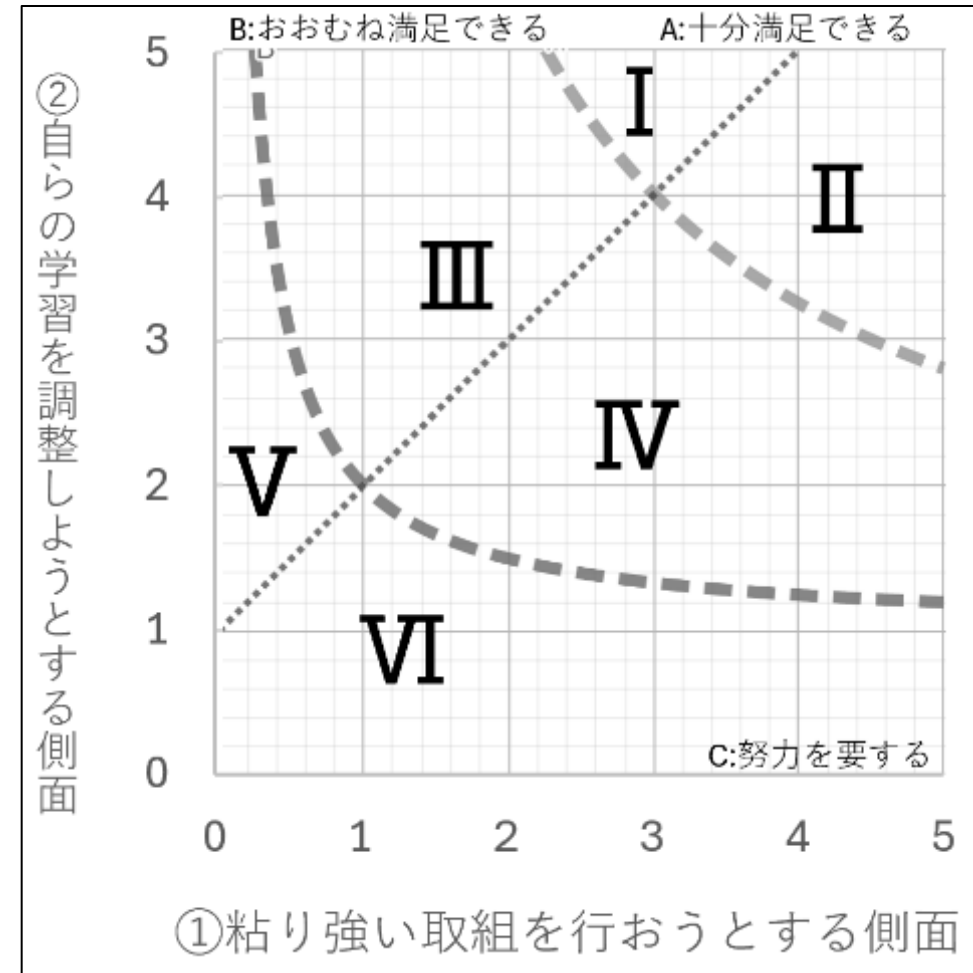
を重ねて、右図のようにゾーンを
I から VI まで区切った。

ここに一人一人の生徒の評価

(x_1, y_1) 、 (x_2, y_2) を重ね合わ

せることで、各生徒に最適なコ

メントを場合分けする。



4 フィードバックコメントの場合分け

「知識及び技能」における主体性に関するコメント例

Ⅲ：「知識及び技能」における主体性は粘り強さと調整力のバランスが重要です。表での「評価」の位置を考えて毎週の週末課題の取り組む量を増やしましょう。

Ⅵ：「知識・技能」における主体性の評価は粘り強く取り組むだけではなく、自らの学習を振り返りながら取り組む内容や方法を見直すことで改善されます。

5 評価シート

資料のエクセルファイル参照

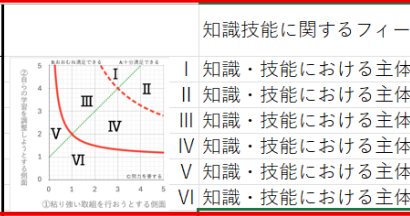
(2) x_1 、 x_2 の入力と y_1 、 y_2 算出のための週末課題、事前課題、定期考査の得点を入力（黄色の網掛け部分のみに入力）し、「主体的に取り組む態度」の評価の算出する。

マクロ印刷ボタン

(3) ロイロノートからダウンロードした「振り返りシート」の貼り付ける。

(4) フィードバックコメントのひな型入力

期間		令和7年度1学期末		知識技能 粘り強さ	知識技能 学力の推移				知識技能調整力	知識技能評価値	思考判断表現 粘り強さ	思考判断表現 学力の推移				思考判断表現 調整力	思考判断表現 評価値	粘り強さ 合計	調整力 合計	合計 評価値	自己評価				自由記述	知識技能に関するフィードバックコメント						
単元		統計的な推測			週末課題	考査前課題	定期考査	帰直線				週末課題	考査前課題	定期考査	帰直線						粘り強さ	調整力	粘り強さ	調整力			粘り強さ	調整力	粘り強さ	調整力	粘り強さ	調整力
No	学籍番号	氏名	1																													
1	2802	記載	例太郎	5	1	3	4	0.75	0.41667	4.16667	A	99	4.17	2	3	4	0.5	1.5	4	A	88	4.5833	4.083	A	93	2	4	3	3	もっと友達と話し合っ	知識・技能における主体	
2	2808	記載	例次郎	1	2	5	3	0.25	2.58333	3.83333	B	42	3.33	2	1	1	-0.25	2.08333	1.1	C	14	2.1667	2.467	B	44	3	4	4	4	自分に必要なことを見	知識・技能における主体	
3	2810	記載	例三郎	0.8	1	3	2	0.25	1.25	2.5	B	28	1.25	2	3	1	-0.25	2.75	1.5	C	20	1.0417	2	B	25	2	3	4	2	時々自ら時間をかけて	知識・技能における主体	
4	2818	記載	例四郎	5	1	2	5	1	-0.33333	4.66667	A	100	5	2	5	5	0.75	1.75	5	A	100	5	4.833	A	100	3	3	4	2	「粘り強く取り組む力」	知識・技能における主体	
5	2822	記載	例五郎	4.2	3	4	4	0.25	2.91667	4.16667	A	91	4.17	2	4	3	0.25	2.25	3.5	A	81	4.1667	3.833	A	85	4	4	3	4	わからない問題があっ	知識・技能における主体	
6	2823	記載	例子	2.5	4	5	5	0.25	3.91667	5	A	79	3.33	2	3	4	0.5	1.5	4	A	79	2.9167	4.5	A	79	2	3	2	2	数字が具体的に与えら	知識・技能における主体	



印刷

5 評価シート

習熟度に応じて「自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら学ぶ」ことができるように気付き、次のステップに主体的に向かうように支援できると考えた。

令和7年度2学期末 「主体的に学習に取り組む態度」の評価シート

学籍番号	氏名	単元	統計的な推測			
2810	記載 例三部					

知識技能における	粘り強さ	調整力	ABC評価	評価ポイント	思考判断表現における	粘り強さ	調整力	ABC評価	評価ポイント
評価	0.833	2.5	B	28	評価	1.25	1.1	C	9
自己評価	2	3			自己評価	4	2		

知識・技能における主体性は粘り強さと調整力のバランスが重要です。表での「評価」の位置を考えて毎週の週末課題の取り組み量を増やしましょう。

思考・判断・表現における主体性の評価はパフォーマンス課題や対話的な活動にただ粘り強く取り組むだけでなく、振り返りながら取り組む内容や方法を見直すことで改善されます。

①粘り強い取組を行おうとする例

①粘り強い取組を行おうとする例

	粘り強さ	調整力	ABC評価	評価ポイント
全体評価	1.042	1.8	C	22

①粘り強い取組を行おうとする例

自己評価 自由記述欄

時々自ら時間をかけていろいろな解き方を模索しながらその問題に達している解き方を探して解いた。でも毎回深く自ら取り組むことができなかったことがよくなかった。今後は毎日コツコツやって日々努力しようと思った

今後の具体的な目標(フィードバックを受けて)

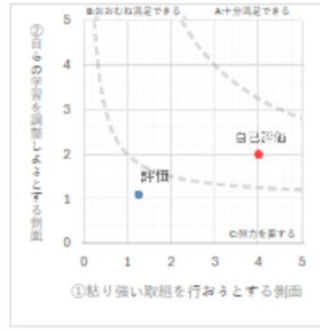
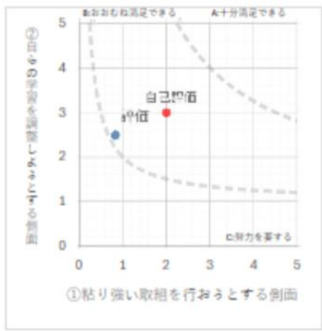
5 評価シート

令和7年度2学期末 「主体的に学習に取り組む態度」の評価シート

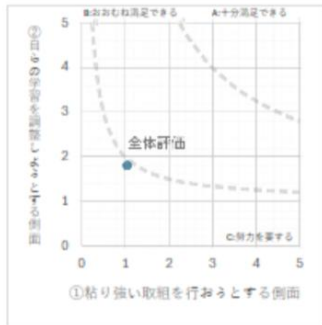
学籍番号	氏名			単元	統計的な推測				
2810	記載 例三郎								
知識技能における	粘り強さ	調整力	ABC評価	判断表現における	粘り強さ	調整力	ABC評価	ポイント	
評価	0.833	2.5	B	28	評価	1.25	1.1	C	9
自己評価	2	3			自己評価	4	2		

知識・技能における主体性は粘り強さと調整力のバランスが重要です。表での「評価」の位置を考えて毎週の週末課題の取り組み量を増やしましょう。

思考・判断・表現における主体性の評価はパフォーマンス課題や対話的な活動にただ粘り強く取り組むだけでなく、振り返りながら取り組み内容や方法を見直すことで改善されます。



粘り強さ	調整力	ABC評価	ポイント
1.042	1.8	C	22



自己評価 自由記述欄
時々自ら時間をかけていろいろな解き方を模索しながらその問題に適している解き方を探して解いた。でも毎回深く自ら取り組むことができなかったことがよくあった。今後は毎日コツコツやって日々努力しようと思った

今後の具体的な目標(フィードバックを受けて)

自己評価 自由記述欄

粘り強く取り組む力は、時間をかけて一つ一つの問題に取り組んだり、答えが違ったときに、自分の解き方のどこが違うとか自分のやり方では答えに辿り着けないのかなど粘り強く取り組めた。また放課なども使って練習に取り組む、効率よく学習に取り組めた

今後の具体的な目標(フィードバックを受けて)

自己評価と実際の評価を比べると自分を低く評価をしているため、もともと自分に自信をもつことで記述試験などの自分の解答に自信をもつことにつながると感じた。

自己評価 自由記述欄

まったくもって「粘りずよく取り組む力」、「自らの学習を調整する力」を意識したり、その力を発揮することができなかった。もう少し自主性を持とうと思う。

今後の具体的な目標(フィードバックを受けて)

なるべく多く提出物を出して、プレゼンできたらと思う
自分の調整力を過大評価しすぎていたため、他の人の解答と自分の解答を見比べていきたい。

自己評価 自由記述欄

粘り強く取り組む力はあまりないと思う。
いつもわからない問題は自分で解けるまで粘ることはなくて少し考えてわからなかったら答えを見てしまうから自らの学習を調節する力についてはまあまあだと思う

今後の具体的な目標(フィードバックを受けて)

自分を大きく評価して(ほう)ところが、
みんから正しい評価をしてもらえるようにする。
粘り強さと成長させる。
みんなでもっと相談が必要だった。

自己評価 自由記述欄

分からない問題をそのままにするのではなく、先生や友達に教えてもらい、理解を深めることが出来ました。家では自分に甘えてしまうため、塾などに行って強制的に勉強をする空間を作り、勉強をする習慣をつけていました。

今後の具体的な目標(フィードバックを受けて)

毎授業、提出をするように心がけていきます。そして、自分で解けなかった問題を振り返り、評価が上がるように頑張りたいです。
自己評価と評価の差が大きかったため、改めて自分を見つめ直していきます。

6 評価シートの活用方法

●各学校の実情に合わせて粘り強さや学力の推移などの算出元を、小テスト、予習動画視聴、確認テストなどに置き換えることもできる。

●フィードバック後に今後の具体的な目標を手書きで記入できるようにしてあり、回収した後、手書きコメントに対して教員がコメントを書いて返却するなどの活用法が考えられる。